

井内ゼミ浜松市調査報告

1. 浜松市の公共交通機関の利用促進の取り組み

①モビリティ・マネジメント（MM）の推進 ※MMとは一人一人の移動や、町や地域のあり方を工夫を重ねながらよりよいものに改善していく取り組みのこと

輸入車 MM（公共交通に関する情報を掲載したクリアファイルなどの啓発グッズを転入者等に配布）

小学生向けバス教室（バスへの興味欲心を目的に、バスの乗り方、マナー等を実際に小学校に行き、教える。※コロナにより DVD 配布）

浜松市職員の「エコ通勤」の取り組み（毎月 20 日に市職員が率先して公共交通を利用して出勤し、呼びかける。）

企業向け MM（企業内外に向けた、P&R・C&R・駐車場の用地提供や公共交通利用促進の広報等を行う「エコモビ応援隊」の募集）

②公共交通活性化・利用促進事業費補助

鉄道駅バリアフリー化設備整備事業

ユニバーサルデザインタクシーの車両導入補助

バスやタクシーなどの運転者不足の改善するための取り組み

→運転手不足については、全国的な問題として課題認識をしているが、現状では、交通事業者から支援依頼等の話は受けていないため、本市として、直接的に運転手不足に対する対策はしていない。

一方で、路線バス事業者から、運転手不足を理由のひとつとして、路線バスの退出申し出があったが、地域の要望により、地域住民・市・交通事業者の 3 者で協定を締結し、2 年間継続運行を実施する事業を今年度から行っている。市では運行経費の一部を負担する予定。

遠鉄バスはバス運行をやめたいのか現状

3. 浜松市では中心部と山間部で公共交通の充実度の格差がありますが、市としてこの格差に対してどのような対策を行っているのか教えてください。

中心部と山間部の公共交通の充実度の格差の対策

→本市の場合、基幹的な公共交通は民営事業者が経営努力により運営しており、利用者の少ない郊外部や中山間地域では、公共交通のサービス水準が低いのは現状である。

市としては、高齢者等の足の確保のため、路線バスが退出した地域などにおいて、地域バス（デマンドバス）を運行している。市が交通事業者へ運行を委託するものだが、利用者となる地域が自ら「地域が守り、育てる公共交通」を趣旨として、地域・交通事業者・行政の 3 者により構成される地域交通検討会（16%満たさないと維持できない）において、地域バスの維持・改善について検討を行っている。

浜松版 Maas 構想や ICT を活用したデマンド運行などを、どのように運輸事業者や市民などに拡

大しているのか

→浜松版 Maas 構想は、デジタル・スマートシティ推進課が所管となって策定した計画

となる。【デジスマ作成の浜松版 Maas 構想の資料で簡単に説明】

ICT を活用したデマンド運行については、地域バスである「いなさみどりバス（なおとら線）」が、平成 30 年 3

月より実証運行を開始し、令和2年10月1日より本格運行に移行した。最短経路での運行による利便性向上や事業効率の向上等を目的として導入しており、他地域(細江地域バス)においても住民の希望により導入された。

ただし、システム導入に係る初期費用、管理経費が追加発生することから、初乗り運賃を高く設定する等、他の運行形態と異なるため、地域交通検討会において地域にあった適切な運行形態を検討している。

都市計画と公共交通をどのようにリンクしているのか

→当課では、公共交通のマスタープランとなる地域公共交通網形成計画を令和2年度に策定した。本計画は、上位計画である都市計画マスタープランが目指す将来都市構造の実現を目指すための将来公共交通ネットワークを示している。

これは、基幹的な公共交通沿線に複数の拠点を形成し、その拠点や公共交通を中心に拡大した都市の集約を図ることにより、公共交通を主体としたより便利な暮らしが可能となる「拠点ネットワーク型都市構造」を本市の目指すべき都市構造とし、都市構造の転換を図っていくものである。

2. 浜松市の観光について

浜松市の観光産業の特徴として、という二つの市をまたいで事業を行う地域連携DMOを行っていることがあげられる。浜松市は、浜名湖周辺地域の浜松市と湖西市で共同事業を行っている。このメリットは、東京と大阪間でのワンクッションとして宿泊してもらえ、デメリットは浜松市を宿泊のためだけに利用されてしまい、観光的な消費額が増えないこと。そのため現在の目標は浜松市を周遊してもらえようようにすることとされている。

産業の歴史と観光産業

昔の浜松市は企業城下町としてスズキ・ホンダ・ヤマハ・カワイなどの輸送機器産業を中心に力を入れていた。それにより企業が儲かれば税金として市にもお金が入るため観光には力を入れていなかった。しかし、多くの企業が海外へ進出し始めてしまう。大企業が海外進出をすると、ターゲットが中国やインドになる。そうすると、日本の消費者にあまり売らなくなるため、部品などを生産する下請会社もインドなどに移動してしまう。それにより、産業の空洞化が発生した。これらのことから始めて観光産業に着目していくようになった。

コロナウイルスによる影響

私たちは、コロナウイルスによって旅行や観光が減り、消費額や宿泊費などが急激に減少し、大打撃を受ける地域がほとんどであることを前期のゼミ学習で学んだ。そのため浜松市もかなりのマイナスがあったと考えていた。しかし実際は、コロナウイルスによって経済がプラスに動いたようだ。これは、小中学生の修学旅行が関係している。愛知県と静岡県は、小学生と中学生の時に、京都・奈良か東京に行くことが決まっている。しかし、コロナウイルスによって修学旅行に行けなくなってしまった。そこで修学旅行の代わりに教育旅行として浜松に訪問する小学校や中学校が急増した。それによって、経済が衰えることもなく、浜松市の経済はプラスとなった。

主な観光産業

色々なものがある浜松市であるが、ツーリズムビューローの職員は、「浜松市は製造業の街であるため観光地ではない」とおっしゃっていた。これは浜松市がものづくり都市の工業地帯であることを理由としている。そのためこれを逆に利用し、「浜松市は観光施設だけでなく、農業や漁業を観光地にしよう」と思い付いたようだ。これらを元に観光産業は大きく4つに分けられている。

1つ目は、作っている現場を体験、見学することである。浜松市は前述のとおり製造業の街であることから、工業地帯が多く存在している。そのためその現場を利用して観光地として生かしていくというものだ。例えば、注染染めがあげられる。もとは地場産業だが、タオルやハンカチなどを体験して作ってもらうというものだ。このような体験プログラムは一見、企業にとっての利益は一切ないように見える。しかし実際は、お客様が来てく

れる・見てくれる・興味を持ってくれることで喜びを感じ、従業員のモチベーションアップにつながるという効果がある。














2つ目は、浜名湖を活用した写真スポットである。浜名湖は以前、潮干狩りがよく行われていた。しかし、乱獲や塩分濃度の上昇などにより環境保護をする方針に変わり、潮干狩りが禁止となった。そのため現在では、湖の干潮と満潮を生かしたフォトスポットとして活用し、若者をターゲットとしたインスタ映えスポットとして人気である。(下の画像)

https://mail.google.com/mail/u/0?ui=2&ik=0ebafc684c&attid=0.1&permmmsgid=msg-f:1777537012395462203&th=18ab147eb6f0ce3b&view=fimg&fur=ip&sz=s0-l75-ft&attbid=ANGjdJ-QB0uvSzZ_vid2ihjzPZleKjr_AmVmw_-jaKTOk0gTkXEU2tJ6u1Vb3k61N37ECykONeXFvaE524pX4sABhOL972KEGOZJdRLqIKVYj3GLW1hR_m_Kz3WXLXEA&disp=emb&realattid=18ab147a017304e38241

3つ目は、「食」に力を入れることだ。ここではフルーツ狩りについて着目していく。浜松市では、イチゴ(章姫)(12月～5月)、ミカン狩り(10月～12月)、ブルーベリー狩り(7月～8月)のように多くの農業によってフルーツ狩りが実施されている。中でもみかん狩りは、私たちが想像している時間制限ありの食べ放題のものではなく、観光客にみかんの収穫を手伝ってもらうというのである。近年、農業は高齢化し、多くの作物をするのは困難なのが現状であり、以前はそのために人件費を払い、アルバイトを雇って収穫していた。しかしこの状況までも体験プログラムとして農家の人のお手伝いを観光客にやってもらい、中間にみかんをつかったおやつなどを準備し、人件費削減と観光地への利用を実現した。このように、どこでもあるのを売るのではなく「オリジナル製品」を目指すことが浜松市の観光産業の中心とされている。また、観光地が少なくて劣っている分を「ここしかないもの」で補うという考え方をモットーとしている。

4つめは、SDGsを取り入れたプログラムだ。前述のとおり、コロナの影響で、東京や京都の代替地として浜松市に教育旅行に来る学校が増加し、コロナ緩和後も来てもらえるようにSDGsを取り入れた学習プログラムを企画した。以下の画像が実際に取り組んでいるプログラムである。

○目標：研修旅行として訪れてもらうこと

NO	種別	主な目標	タイトル	主催者	所要時間/人数	内容
3	環境		浜名湖の生物と環境教育	浜名湖フォーラム	150分	弁天島海浜公園で座学でSDGsの講義、その後いかり瀬に行き、海の生物を観察。
					45名	
4	環境		安心・安全・面白い・新しい光で拓くSDGsへの取り組み	パイフォトニクス(株)	90分	セミナールームで当社の事業内容とSDGsへの取り組みを説明し、ショールームにて当社製品を見学して、企業活動とSDGsの繋がりを体験いただけます。幼児が登壇可能なフューリフト模型を用いて光による安全ルールの可視化が体験できます。
					30名	
5	環境		CSG工法の浜松市沿岸域防潮堤見学会	浜松まつり会館	120分	浜松まつり会館にて「浜松市防潮堤」の構造、意義等の説明。その後、徒歩で完成した防潮堤を実際に見学。
					45名	
6	エネルギー		サステナブル建築物見学とSDGs講師と考える持続可能な街づくり	常盤工業株式会社	120分	新社屋は令和元年度サステナブル建築物等先導事業として国交省から採択を受ける。21年12月完成。完成後SDGs講義と本社見学。
					45名	
7	水		ウォータースタンド株式会社の事業を通じたSDGsへの貢献	ウォータースタンド株式会社	45分	従来のウォーターサーバーにあるプラスチックタンクとタンクを置くスペースを省略した。直接水道管からクリーンな水を作る技術に成功した。
					20名	
8	食		食から未来を作る	浜松調理菓子専門学校	180分	講師による食育の講義。その後、料理デモンストレーション、調理と試食体験
					40名	
9	食		楽しく学んで、ミツバチへの理解を深める「ミツバチ教室」	(株)長坂養蜂場	70分	はちみつができるまでの成り立ちを知り(一匹のミツバチが生涯に作るはちみつはわずかティースプーン1杯分)、いのちに感謝し、豊かな自然との共生に対して興味関心と想像力が芽生える。
					200名	
10	食		ホテルのSDGs取り組み	くれたけ荘	120分	ホテル呉竹荘でのランチプラン。ランチ後SDGsの取り組み講話。より身近にSDGsを感じられます。
					130名	
11	エネルギー		太陽はトモダチ	OMソーラー(株)	90分	ソーラーフッカー実験暮らし、エネルギー、温度についての解説/パワポ・エコハウスモデルハウス見学。
					40名	
12	福祉		2030SDGsゲーム(イマココラボ)	政本ゆかり氏	120分	カードを使ってゲームを行いSDGsについて学びます。
					30名	
13	福祉		SDGsボードゲーム(未来技術推進協会)	政本ゆかり氏	120分	カードを使ってゲームを行いSDGsについて学びます。
					30名	
14	福祉		笑って学ぶSDGsセミナー	社会福祉法人復泉会 くるみ共同作業所	90分	お笑い芸人のつくった(株)笑下村塾の公認ファシリテーターである講師が、笑下村塾のプログラムであるSDGs/リフレクゲーム等を通して、SDGsのはじめの一歩となるようお伝えします。世界で起きていることを学び、私たち個人ができること楽しく学びます。
					30名	
15	福祉		障がいのある人の仕事見学 ~こんな工夫で仕事ができる!体験~	社会福祉法人復泉会 くるみ共同作業所	90分	障がい者の働く生活の場の見学。実際の作業のラベル張りを体験。
					30名	

※プログラムの中には有料のプログラムがあります

(写真)「浜松・浜名湖体験プログラム」

インバウンドについて

コロナ前は1年で約33万人の外国人が宿泊しており、そのうち約28万人が中国人であった。しかし、中国の国民性から、インバウンド消費を中国人(海外)に任せっきりにするのはリスクがあると考え、中国以外の国をターゲットにした。そこで出たのが、台湾・タイ・オーストラリア・ベトナムである。台湾やタイは日本と友好であったり、親日であったりすることからターゲットにしている。オーストラリアは花が好きな人が多く、季節が逆であるため、フラワーパーク・ガーデンパークへの集客を増やすことも目的とした。最後にベトナムは、個人でVISAをとれる国ではないため、旅行するには旅行会社を経由したツアーに参加することが必須である。つまり、国全体に浜松市をアピールしなくても、旅行会社のみで済むため効率を重視したようだ。

まとめ

製造業の城下町である浜松市は、他の地域と比較して観光施設がほとんどない。そのため、国土縮図型都市と呼ばれるような自然いっぱいな地域の特性を生かして、農業や産業のここにしかないものを利用して、観光地として観光産業を行っていることがわかった。

3.磐田市とスポーツクラブの地域密着について

1 磐田市の概要

- 2 なぜ磐田市なのか
- 3 磐田市に本拠地を置くスポーツクラブについて
- 4 磐田市スポーツのまち推進課について
- 5 地域密着と行政（磐田市）
- 6 地域密着と行政（ほかの事例）
- 7 まとめ

1 磐田市の概要

基本情報

人口：約 16 万 4 千人（23 年 8 月時点）

面積：163 平方キロメートル

市の花：ツツジ

主な産業：製造業（楽器、オートバイなど）、農業（温室メロンなど）

歴史：奈良時代には国府や国分寺が置かれ遠江国の中心地であった。

2021 年「スポーツのまち」として思い浮かぶ市町村ランキング 1 位を獲得。



2 なぜ磐田市なのか

スポーツ班が磐田市を選んだ理由は磐田市を本拠地とするスポーツクラブが多いからである。今回のゼミ合宿でのスポーツ班の調査の目的は「スポーツクラブの地域密着における行政の役割について」である。スポーツ班では様々なスポーツクラブの地域密着活動について調べてきた。そこで地方のスポーツクラブやマイナースポーツのクラブが生き残っていくには本拠地に根差していくことが必要不可欠であることが分かった。そこで磐田市という地方に本拠地を置くスポーツクラブがどのような地域密着活動を行っているのか、またそこに行政はどのように関わっているのかを調べた。

3 磐田市に本拠地を置くスポーツクラブについて

ジュビロ磐田（Jリーグ）

概要

- 設立：1972 年
- チームカラー：サックスブルー
- ホームタウン：磐田市、御前崎市、菊川市、浜松市など
- ホームスタジアム：ヤマハスタジアム（収容人数 15165 人）
- 主なタイトル：J1 優勝 3 回（※1st 4 回、2nd 2 回）、J2 優勝 1 回、ルヴァンカップ 2 回、天皇杯 1 回、スーパーカップ 3 回、アジアクラブ選手権（ACL）1 回、など



静岡ブルーレヴズ（ラグビー）

概要

- 設立：1984 年
- チームカラー：サックスブルー、紫黒、白
- ホームタウン：磐田市
- ホームスタジアム：ヤマハスタジアム
- 主なタイトル：日本選手権 1 回、国体 1 回、関西社会人リーグ 1 回



- 歴史：1984年にヤマハ発動機ラグビー部として創設。2005年にヤマハ発動機ジュビロ、2021年に静岡ブルーレヴズに改称。

静岡 SSU ボニータ（女子サッカー）

概要



- 設立：2008年
- チームカラー：紺
- ホームタウン：磐田市
- ホームスタジアム：磐田スポーツ交流の里・ゆめりあ球技場
(収容人数 1000人)
- 歴史：静岡産業大学サッカー部女子、磐田東高校女子サッカー部、ジュビロ磐田レディースの選手を中心に2008年に静岡産業大学磐田レディースとして創設。2020年に静岡SSUアスレジーナ、2022年に静岡SSUボニータに改称。

Q. なぜ磐田市に本拠地を置くスポーツクラブが多いのか

A. ヤマハの存在

ヤマハ（1897年創業）のオートバイ製造などを行うヤマハ発動機（1955年創業）は1972年に本社を浜松市から磐田市へ移転した。ジュビロ磐田や静岡ブルーレヴズはヤマハ発動機のサッカー部、ラグビー部が母体であり本拠地を磐田市に置いている。静岡SSUボニータはジュビロ磐田のレディースチームや静岡産業大学（磐田市、藤枝市）の女子サッカー部、磐田東高校女子サッカー部が母体となっているため磐田市を本拠地としている。

4. 磐田市スポーツのまち推進課について

磐田市スポーツのまち推進課は自治市民部のなかのスポーツに関する業務を取り扱う課である。課は市民スポ市民スポーツ、スポーツ戦略グループ、施設管理施設管理グループの3つのグループに別れている。



磐田市の調査によると2020年度の磐田市におけるスポーツの実施率（週一回以上）は51%となっている。年代別にみると30～50代が低くなっている。スポーツを実施しない主な理由としては仕事や家事が忙しい、きっかけが無いなどが上位を占めた。そこで磐田市ではスポーツを始めるきっかけとなるようなイベントを行っている。一例としては楽La歩（ララポ）ウォークが挙げられる。これは磐田市のららぽーと磐田内のチェックポイントでQRコードを読み込みクイズに回答してキーワー

スポーツを実施していない(できない)理由



ドを集め、クーポンや豪華景品が当たるというものである。競技スポーツやレクリエーションとは異なりショッピングモールを歩くという普段の生活に近くハードルの低いもので一日50～100人ほど参加している。

5.地域密着と行政（磐田市）

磐田市としてはスポーツクラブの地域密着に①地域活性化②地元愛の育成を期待している。

幼稚園生を対象としたサッカー教室から小中学校を対象とした夢語り講座、小学校高学年を対象とした試合への招待などを通してスポーツクラブと関わる時間を増やすことで新たにスポーツ始めるきっかけや地元愛を育もうとしている。

〈参考〉各スポーツクラブの地域密着活動 ※赤字は磐田市が関わっているもの

ジュビロ磐田

①サッカーの普及、スポーツ振興

活動名	内容
サッカー巡回教室	幼稚園の園児を対象としたサッカー教室 (2022年 117園 3208人)
運動あそび教室	保育園、幼稚園の園児を対象とした運動遊び教室
磐田 U12 国際サッカー大会	2016年から静岡県サッカー協会、磐田市、磐田商工会議所、磐田市体育協会、ジュビロ磐田で実行委員会を組織して磐田 U-12 国際サッカー大会を開催
ジュビロ磐田メモリアルマラソン(磐田市スポーツ協会主催)	2022年で 25 回目を迎え、毎年磐田市内外から多くのランナーが参加
ジュビロ公式チアリーダーズ「Jubies」	ジュビロ磐田の公式ジュニアチアリーディング
ジュビロ ヨガクラブ	福田屋内スポーツセンターで、18歳以上の男女を対象に『続けることでカラダが変わる』をスローガンとしてヨガ教室を開催
その他 <ul style="list-style-type: none"> ● ジュビロ磐田 U12 トンボカップサッカー大会 ● ジュビロ磐田杯わんぱく市民すもう大会 ● ジュビロ磐田陸上競技大会 ● ジュビロ杯争奪小笠・磐周中学校卓球大会 ● ジュビロカップ タグラグビー大会 ● ジュビロカップ シニアサッカー大会 	

②学校教育

活動名	内容
招待事業	招待事業
小学生一斉観戦事業	磐田市、教育委員会と協力して市内全小学5、6年生をスタジアムへ招待(2011年～)
選手会の学校訪問	選手が磐田市の小学校 22校に年二回訪問してミニゲームや夢についての授業を行う
ジュビロキッズの配布	地域の小学校にミニ新聞を配布(偶数月)

③地域交流

活動名	内容
パブリックビューイング	ららぽーと磐田でのジュビロの試合のパブリックビューイング
ジュビロ磐田似顔絵コンテスト	入賞者は表彰される
地域イベントへのマスコットの参加	

④自治体、企業との連携

活動名	内容
磐田デー	小学生招待試合日に市長のキックインや特産品販売などを行う
人権サポーターマッチの開催	啓発物品の配布、告知映像など
のぼりの設置	交通事故防止のためののぼりの設置
サーラカップ	静岡、愛知、岐阜、神奈川の16チームによる大会をヤマハスタジアムで開催
サーラキッズ	栄養セミナー、フィジカルコンディショニング講座、サッカー教室の開催
明治安田生命浜松支社子どもサッカー教室	子ども向けのサッカー教室を開催
その他 <ul style="list-style-type: none"> ● 交通安全グッズの配布 ● 交通安全イベント ● 臓器提供意思表示カード ● 世界自閉症啓発デー ● 税を考える週間 ● 赤い羽根共同募金 ● バス車内事故防止キャンペーン ● 国土交通省不正改造車排除 ● 磐田税務署確定申告 PR ● 磐田警察署テロ防止 	

静岡ブルーレヴズ

活動名	内容
ラグビー教育レガシー推進事業	静岡県、教育委員会との連携事業。推進校でラグビーを教育に取り入れる
トップアスリート連携事業	浜松市との連携事業。学校へ選手を派遣し体験教室や講演会を開催
学校普及活動	幼稚園やこども園でのラグビーボールを用いたレクリエーションを開催、小中高でのスタッフによる授業などの実施
イベントでのラグビー体験教室の実施	

6.地域密着と行政（ほかの事例）

行政がスポーツクラブの地域密着に熱心な事例の一つが山梨県の韮崎市である。韮崎市は山梨県の北西部に位置する市で J リーグのヴァンフォーレ甲府のホームタウンの市町村の一つである。市内にある韮崎高校のサッカー部は元日本代表中田英寿らを輩出し、インターハイ優勝や 5 年連続選手権ベスト 4 入りなどを果たした名門校である。市としても「サッカーのまち韮崎」を名乗っており、サッカー熱が強い。



そんな韮崎市はヴァンフォーレ甲府の応援にも熱心で 2013 年に市内の韮崎中央公園の芝生グラウンドにクラブハウス（ロッカールームやシャワールーム、トレーニングルームなどを備えた施設）を建設しヴァンフォーレ甲府が優先的に使用できるようにした。更に 9 月 20 日から始まる AFC アジアチャンピオンズリーグ（アジア No.1 を決める大会）のホームゲームの試合に際して韮崎市民を対象としてチケット代、会場の国立競技場までのバス代を市が負担する（※参加費は必要）ツアーを企画するなど行政からのクラブに対してのサポートが手厚い。

[AFC チャンピオンズリーグ応援バスツアーについて／韮崎市 \(nirasaki.lg.jp\)](http://nirasaki.lg.jp)

7 まとめ

ジュビロ磐田や静岡ブルーレヴズは地域に根差した活動を積極的に行っており、地域に根差したクラブ運営を行っていることが分かった。磐田市にとって子供のスポーツ教育などにおいてジュビロ磐田をはじめとしたスポーツクラブの存在が大きいということがわかった。プロスポーツクラブは町の象徴的な存在である。「ジュビロ磐田が好きだから磐田が好き」、「ブルーレヴズは磐田の誇り」と人々が感じることで地元愛、郷土愛が生まれ磐田に愛着を持ってもらうことは人口流出問題などのスポーツを超えた諸問題の解決にも繋がるのではないかと考えた。

ただ、今回磐田市を訪問したのは「スポーツクラブが地域密着するために行政は何をしているか、何ができるのか」について知ることであったためそこについては深掘りすることができなかった。

参考資料

[honpen.pdf \(city.iwata.shizuoka.jp\)](http://city.iwata.shizuoka.jp/honpen.pdf)

[楽 La 歩ウォーク in いわた | 磐田市公式ウェブサイト \(city.iwata.shizuoka.jp\)](http://city.iwata.shizuoka.jp)

[ヴァンフォーレ甲府を応援しよう♪／韮崎市 \(nirasaki.lg.jp\)](http://nirasaki.lg.jp)

[トップチーム練習場の紹介 | ヴァンフォーレ甲府 公式サイト \(ventforet.jp\)](http://ventforet.jp)

4. 浜松市の保育園調査

1) なかがみこども園調査

園での子供たちの一日



外で遊ぶ際いろんなエリアに分かれて
ことを選択することができる。例えば水
室内だったらラキュー・本読む・おま
まがある。本の読み聞かせもある。また火
歳から5歳を対象に山や川へ行くバス散
の中では体験できないことを経験するた
曜日、金曜日には体感を鍛えることを目
びも行われている。これらもすべて自由
る。



おり自分が好きな
遊び・砂場・遊具、
ごと・室内遊具など
曜日、水曜日には2
歩を行っており園
めに行っている。木
的としたリズム遊
参加で園児が決め

ランチは 11:30 から 12:30 までの間で好
時間を見て食べに行く。食堂みたいな部屋になって自分で取りに行き自分で配膳する。その後食べ終わったらお昼寝。時間になったら食事係が机を消毒して布巾で拭いたりする準備を自分たちで行っていた。

きな時間に自分で

集会では今日1日楽しかったことを報告、季節の木の实、歌などを発表する。

小学校に上がった時に自分の荷物を管理できる力をつけるために荷物はすべて持ち帰る。

延長保育は月に2~3人ほどで利用する人はほとんどいない。園に参加することができるファミリーデーを月に5日間開催していて1日に10名の保護者が園に参加できる。この取り組みをすることにより園児も保育園に通うことが長く大変ということを実感してもらい、できる限り時間内にお迎えに来てもらうようにしている。

なかがみこども園の特徴

0歳から5歳、141名が在籍しており年齢別のクラスではなく2~5歳の大きな家族として生活している。そのうちの10人が児童発達支援所の子供で同じように区別なく生活している。メリットは上の子が下の子の面倒をみる機会が与えられ、頼り頼られながら助け合いを当たり前に行えるようになる。例えば階段では手をつないで下りたりする。また下の子が上の子の行動を真似するようになりお互いが成長できる環境である。デメリットは4月5月に新入生が入園するためバタバタすること。しかし6月ごろになると今までいた上級生を見習いみんな慣れてくる。

保育士の現状

現状は子供の数に対して保育士の数が足りていない。増やすことにより休憩時間の確保、業務の時短になる一方で園児を見る人数が増えることにより人任せになってしまうというデメリットも挙げられる。

まとめ

なかがみこども園は大きな家族としての生活を大切に子供に選択させる教育を基本としている。子供たちと実際に触れあってみてどの子たちも自分が好きなことを楽しそうに遊んでいて、やるべきことはきちんと守れていると感じられた。保護者とのコミュニケーションもとれていて先生方も明るくてとても素敵なこども園だった。

2) ぬくもりのおうち浜松園

概要

対象年齢：生後 57 日目から 3 歳未満児

開園時間：月～土 7:30～18:30 後 1 時間延長あり

定員：19 人

登園に必要なもの：紙おむつ、おしりふきは
ベビージョブの手ぶら登園を導入しているため
持参不要

以下の持ち物は全園共有

- 着替え一式（上・下・靴下）
- 食事用エプロン
- 園帽子
- ナイロンの袋（取っ手付き）
- ポリ袋

※成長段階によって必要なもの：哺乳瓶 よだれかけ、歯ブラシ

※園によって異なるもの 午睡用の服、布団、シーツ

給食：アレルギーのある子どもでも、できるだけ同じようなメニューが食べられるように、
献立づくり工夫

[おいしい給食 | ぬくもりのおうち保育 \(nukumorinoouchi.com\)](http://nukumorinoouchi.com)

特徴

- 少人数だからこそできる「お子様一人ひとりへの目配り、気配り」を大切にしている保育園
- 浜松駅が近く、利便性も良いため、新幹線や電車・バスなどの車両をたくさん見たり、近隣の公園に遊びに行くなど、充実したお散歩が経験出来る園
- 異年齢同士の関わりが多く、大きい子と小さい子が手をつないでお散歩をする姿や、みんなでテーブルを囲んで給食を食べる姿など、とても微笑ましい光景が見られるのも小規模ならではの特徵



(質問)

保育士さん1人に対して何人の子どもたちを対応していますか？

- ・安全に保育するためには職員に余裕が必要。
- ・基本的に子供に対し、1.5～2倍の人数(ベースは1.5人)。

安全の配慮や、食事管理など様々な取り組みを行っている中で、一番大変だと感じることは何ですか？

- ・一つ一つの取り組みが全て大事。
- ・子供を怪我なく、来た時と同じ状態で帰すこと。

手ぶら登園サービスを利用している保護者の方はどのくらいいらっしゃいますか？

また、何故このようなサービスを始められたのですか？

- ・おむつの持参、おむつに名前を書くなどの親の負担を減らすため。
- ・紙エプロンの貸し出しも行っている。

おむつを保育園で全額負担するサービスは、いつから始められましたか？

- ・ぬくもりのおうちの開園時は無く、

全国の園で3年前から行われるようになった。

「ヒヤリハット報告書」には、例えばどのような内容が共有されていますか？

ヒヤリハット：ケガになる1歩手前

- ・落とした物を拾うときに机の角に頭をぶつけそうになった。
- ・床がぬれて滑った。
- ・お散歩中に知らない人に声をかけられる・カメラを向けられる

**保護者の声では、子供たちだけではなく、保護者の方々にも寄り添っていると感じたのですが、保育をするなかで、親御さんとの関わりも含めていつも心掛けていることは何ですか？
どのようにして相談し合える関係を構築していくのかなどお聞きしたいです。**

- ・朝、玄関で向かえる時に家を出るまでの家庭の様子を聞く
- ・園での様子をノート書き、渡す
- ・その上で、更にお迎えの時に園での様子を伝える

保育園の1日の流れはInstagramで拝見したのですが、職員の方たちの1日のスケジュールをお聞きしたいです。

- ・タイムカードを押す
- ・着替えをする
- ・子供たちが寝ている間に書類などを書く
- ・毎日2時から昼礼といい、午前中にあった事の共有、体調や変わったことが無かったか、行事ごとについて話し合う。

(夜に職員会議などはない)

リブウィズ講座では、どのくらいの親御さんが参加されますか？

- ・保護者の方にも知識を持ってもらうことをテーマに行う。
- ・コロナのため行うことが出来ていない。

ぬくもりのおうちは全国にあると思いますが、この浜松園ならではの保育はありますか？

- ・駅に近い・道路に面しており、車通りが多い
- 子供が車好きになる・車が無くても通いやすい
- ・子供一人一人の声を大切にしている。

保護者の方々からの相談では、どのような悩みがありますか？

- ・お子さんの発達のご相談(遅いのではないかどうか)
- ・トイレトレーニングのタイミング
- ・食事について(野菜を食べないなど)
- 給食だよりを提示して調理法を紹介・アドバイス
- ・どのような離乳食を食べる・食べないか
- 園でも保護者の声を聞いて微調整する

異年齢の保育では、2歳児は年下の子どもたちに優しく接することや、0~1歳児はお手本を見て学ぶなど、どの年齢もそれぞれ成長ができてとも良い環境であると思いますが、一方で異年齢の保育であるために苦勞はありますか？

- ・良いところ：上の子が下の子を見てあげる・分からないことを教えてくれる。

(家族のような関係性)

- ・悪いところ：集中して遊んでいる時に下の子が少し入ってきて遊びを少し制限される。

厳しい暑さが続いており、散歩に出掛けられない日もあると思いますが、そういった日はどのような活動を行っていますか？

- ・8月にはプールを出して、中には入らずおもちゃを使って水遊びを行う。
- ひなたにならない建物であるため、暑い日差しがない中で水遊びができる。

小規模な保育により、子供たち一人ひとりに対してしっかり目が行き届き、アットホームな環境での保育であると思いますが、一方で、小規模な保育がゆえに起きた問題などがあればお聞きしたいです。

・目が行き届きすぎてしまうためどんなトラブルが起こる前にもすぐに止めることができ
てしまう。

→ケガに繋がるようなことをすぐに止めることができるのは良い事だが、ある程度のトラ
ブルを経験することによって子供たちが成長することもできるという理由からあまり良く
ない。

職員の方たちがこの園で働いてやりがいを感じることはなんですか？

- ・1人1人に寄り添った保育を行い、すぐに共有し合えることもやりがいにつながる。
- ・大きい保育園はやり方決まっている場合が多いため小規模だからこそやりたい保育を行
いやすいこと。

保育施設全体で改善して欲しい点

- ・保育士が必要される仕事ということを世間にもっと認識して欲しい。
- ・保育はお母さんだけがすることではないということ。
- ・収入の増加やもっと憧れるような職業になって欲しい。

ぬくもりのおうち保育浜松園でお話を伺い、「子どものあるがママを受け止められる環境」
を提供し、一人ひとりの人格や人権を大切にしていると同時に保護者の方とも良い関係を
築くことで更に良い保育が行っているところから、どうしたら更に良い保育を行えるのか
考えているのが伝わった。また、子どもが「その人らしく成長できる保育」を行うために、
安心・安全が保障された環境の提供を行っていることが分かった。

また、母は働いていることをベースとしているため、保護者参加の行事が無いという点から
保育士の負担が軽減していることが保育士問題の解決に繋がっていると感じた。